

平成 27年 06月 02日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

丹波篠山の家

グループの名称

丹波篠山に優良住宅を創る会

直近採択グループ番号

04-0178-0352

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

大前 裕樹

代表者印

代表者所属先

株式会社 大市住宅産業

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

兵庫県篠山市吹新64-2

代表者電話番号

079-590-1233

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 中井工務店

事務局構成員番号

V-1, VI-1

事務局担当者名

中井 雅人

印

事務局郵便番号

669-2702

事務局所在地

兵庫県篠山市本郷670

事務局電話番号

079-592-0266

事務局FAX

079-592-0357

事務局担当者E-mail

nakaiarc@maia.eonet.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	丹波篠山の家
2. グループの名称(必須)	丹波篠山に優良住宅を創る会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0178-0352
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県、大阪府、京都府
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	大前 裕樹
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 大市住宅産業
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	兵庫県篠山市吹新64-2
10. グループ代表者電話番号(必須)	079-590-1233
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 中井工務店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	中井 雅人
14. グループ事務局郵便番号(必須)	669-2702
15. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県篠山市本郷670
16. グループ事務局電話番号(必須)	079-592-0266
17. グループ事務局FAX番号(必須)	079-592-0357
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nakaiarc@maia.eonet.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	5	
V. 設計	3	
VI. 施工	11	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	兵庫県産木材	兵庫県	兵庫県産木材証明制度	1	国内
	兵庫県産木材	兵庫県	ひょうご県産木材認証制度	1	国内
	京都府産木材	京都府	京都府産木材認証制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 15 戸				地域材加算合計 15 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	うち申請が未確定	地域材加算(うち申請が確実)	地域材加算(うち申請が未確定)
	12 戸	3 戸	0 戸	3 戸	2 戸	13 戸
	うち申請が確実 2 戸	うち申請が確実 0 戸				
	うち申請が未確定 10 戸	うち申請が未確定 3 戸				
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸				
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸				
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸				
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸				
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸				
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸				
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物					
	うち申請が確実 0 棟	0 m ²				
	うち申請が未確定 0 棟	0 m ²				

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	補助金割り当て棟数÷施工事業者希望棟数=割当棟数比率 し長期優良住宅の普及促進の観点から未経験工務店に優先的に割り当てを行う。		比率で計算し割り当て棟数が1等を切る場合は「1棟」とする。ただし	
--	--	--	----------------------------------	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 7 戸	交付申請戸数 6 戸	竣工済 2 戸	竣工予定 4 戸
	木造建築物			
	採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0178-0352	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○地盤調査を100%実施し、地盤補償の保証書を発行する。 ○長期優良住宅の耐震等級を3に設定する。 ○温熱環境に配慮して断熱性能を長期優良住宅認定基準以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式		
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	篠山市には景観条例がありますので条例を順守する事はもちろん、その他の地域でも昔からの景観や街並みに配慮した設計を心がけることとします。条例範囲外の地域でも地域の街並みによって外観に配慮し「町の地域」「山の地域」「田園地域」に分けて地域にふさわしいデザインになるように努めます。具体的には地域によっては屋根の形状を入母屋、切妻、寄棟に限定し屋根材は瓦屋根とする。	◎
④①～③の背景	篠山盆地は昔、湖水であり比較的軟弱地盤が多く、御所谷断層など活断層もあります。また、気候は年較差、日格差ともに大きい内陸型気候が特徴です。兵庫県丹波篠山地域は国の「伝統的建造物群保存地区」や城下町があり景観条例等が施行されています。また多くの田園風景が残る地域で都心部からの観光客も多くなり、昔の建物「古民家」を利用した宿泊施設や飲食店、雑貨屋さんなども近年非常に多くなってきています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	地域材のグループ内統一単価表を作成し地域材の価格情報をグループ内で共有する。単価表の作成に当たっては(原木供給業者～施工)まで参加により決定する。特定の事業者が不利にならないように配慮する。平成27年度は担当者を決め情報を集中して集めたり広報したりできるようにする。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	グループのスケールメリットを利用した資材の共同購入を図り仕入れ金額を抑えます。また地域材の使用数量の予測が早い段階でたてられるので地域材の確保をしてもらい、停滞なく現場に搬入できるようにしていきます。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	昨年度より大学と共同で勉強会をしている工務店がグループ内にありますので今回のグループ内企業だけではなく広く関係者を集め地域課題や地域工務店の現状、林業に関する問題等を検討する委員会を開催いたします。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	有益な情報が無いが常に調べグループ内業者へ情報の提供を行います。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	地域材の施工ルール(部位、寸法)をマニュアル化しどの施工店でも同精度の地域材が使えるようにする。それ以外の部位でも勉強会を通じて難しい納まりや問題となっている部分の解決策を図りグループ内で情報を共有していきます。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	グループ内の統一検査マニュアルを使用して検査を行い、担当施工店だけではなくグループ内企業を使用し第三者の目線でもチェックを受ける。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	地域材のグループ内統一単価表を使用し地域材の価格情報をグループ内で共有する。単価表は常に更新し作成に当たっては(原木供給業者～施工)まで参加により決定する。特定の事業者が不利にならないように配慮する。出来る範囲で一般消費者にも公表する。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	グループのホームページや新聞折り込みチラシを利用した広報活動を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0178-0352	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	住宅履歴情報はデータ化し管理する。出る限り第三者機関の履歴情報管理サービスを利用する。定期点検方法はグループ内点検基準を使用し実施する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	過去3年間地域型住宅ブランド化事業で蓄積したメンテナンスのノウハウを精査し運用しやすいグループ基準を再作成し住宅に適用する。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	グループで共同してDIY相談会・体験会を今年度中一回実施する。それとは別に学生を対象とした体験会を実施し広く一般消費者にPRする。	◎
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	月一回の定例勉強会時に維持管理について検討を重ねるとともに外部の有識者にもアドバイスをもらいグループ内の維持管理計画を策定する。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	工事中の倒産廃業時にはグループ内施工店が速やかに工事を引き継ぎお施主様の負担を軽減する。引き渡し以降に担当施工店が倒産廃業した場合はお施主様に事情を説明しお施主様が希望されれば他の施工店で家守りを継続していく。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	原則は施工店が既存の瑕疵担保保険を使用しお施主様に対応していく。ただし施工店、お施主様よりグループでの対応を希望させた場合はグループで対応をしていく。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	補助金利用現場はその現場ごとに技術的な勉強会を開催して長期優良住宅等未経験工務店への技術的なアドバイスをを行う。また申請、設計の段階から相談に乗りバックアップしていく。	○
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	未経験工務店の要望により設計、申請、施工各段階で研修会を開催する。また補助金使用現場ごとに施工現場で研修会を行いたいと考えていますので年度内に10回程度行います。	○
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	グループ結成4年目を迎えメンバーが固定化してきたので今一度この事業の主旨に賛同する業者、グループの賛同者を募りもう少し広域に活動できるようにメンバーを増員する。	◎
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	各業種ごとの組合や協会を通じてメンバーを募集する。	◎
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	省エネ技術講習会未参加施工店は今年度中にすべての会社が受講するようにします。その他の業種についてもできる限り参加していただけるようにします。	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	講習会の開催情報をこまめに流し、定期的に受講の有無を確認していきます。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	新築の長期優良住宅のノウハウをリフォーム工事特に古民家の改修に利用できるように技術の検討を行います。当グループだけではなく大学の研究機関とも共同で進めていきます。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	上記古民家の改修に向けて実際の改修工事現場で実証実験を行います。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0178-0352	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須) 地域材を構造材(柱、梁、桁、土台)に使用する。2次部材及び下地材、仕上げ材に地域材を使用</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須) 構造材全数量の55%以上に地域材を使用しかつ2次部材、下地材、仕上げ材の2㎡以上に地域材を使用すること</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須) 地域材の購入はグループ内の原木供給業者より購入し同じくグループ内の製材業者で製材された商品を使用する。その後構造材においてはプレカット業者その他商品については建材流通業者か直接中小工務店へ納品する。県産木材の認証及び証明書発行は制度上きめられた業者が適宜申請し証明を受ける。</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎ ◎ ◎
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み 月一回の定例勉強会において地域材の在庫量や価格情報を発表してもらって情報を共有する。</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測 地域材特に構造材に使用する松、杉は兵庫県独自の木材利用ポイント制度が始まり供給量が需要に追いつかない可能性がある。グループ内物件はできるだけ早い段階で情報を共有し受給不足に備える。</p>	○ ○
c	<p>①-1 畳の活用 地域の職人の為にも積極的に活用する。</p> <p>①-2 和瓦の活用 グループ内で設定した地域においては和瓦屋根を必須としその他の地域でも既存の景観を重視し積極的に和瓦を使用する。</p> <p>①-3 襖の活用 地域の職人の為にも積極的に活用する。</p> <p>①-4 障子の活用 地域の職人の為にも積極的に活用する。</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用 篠山市は丹波焼(陶器)の産地であることから丹波焼を使用した手洗い鉢や陶板タイル、表札プレート等積極的に建築に採用できるように努力します。</p>	○ ○ ○ ○ ◎
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組 事務局本部のある篠山市には「伝統的建造物群保存地区」があり多くの街並みや建物デザインの専門家や住民有志によるグループがありますので連携し勉強会等を実施していきたいと思ひます。</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組 大学と産学連携で地域の住まい方と建物を使用しての地域課題の問題解決を昨年より実施しているため本年も引き続き連携し課題解決に取り組みたいと思ひます。</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組 事務局本部のある篠山市には「伝統的建造物群保存地区」があり多くの街並みや建物デザインの専門家や住民有志によるグループがありますので連携し勉強会等を実施していきたいと思ひます。</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組 地域の古民家を研究し現代の住まいに生かしていく。具体的には軒の深さや間取り等</p>	○ ◎ ○ ○
その他	<p>和の住まいを利用した塾(仮称)寺子屋事業を民間塾経営企業と開始します。子供の間には和の家に触れ合う機会を与えます。</p> <p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入</p>	◎

その他	【平成27年度対応方針】	◎、○ 記入欄
-----	--------------	------------

東日本大震災の復興に資する取組	今回の補助金を使用して受注した物件1件につきグループ内で定めた金額を東日本大震災の復興活動をされている団体に寄付をする。	
<p>グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。